

20周年イベントのご参加

ありがとうございました

アンケートに寄せられた声をご紹介します

■自己肯定感の低い子供ですが、今日のパネラーの皆さんのように、過去の自分を強みに変えて…という気持ちで、人生を送って欲しいと思いました。提言の中での言葉は、胸に沁みました。ななみさんの歌声は、とても素晴らしかったです。曲も歌詞も（トークも）とても良かったです。

■ななみさん、サトルさん、古豊さん、不登校時の生の体験を聞いて良かったです。生き生きとした3名に自信が持てました。提言のコスモスの詩が、とても心に残りました。書き留めればよかったと思います。ななみさんのコンサート、感動しました。

■今悩んでいる親の会のメンバーが参加しています。私自身が振り返り「これで良かったのかなー」と思える親の対応が、色々とトークの中で出てきました。次の親の会の中で、多くの事を話題にしてみたいと思いました。20年という長い活動の中から、今回のイベントにつながっていると感じました。

■20年前の不登校は市民権もなく、本当に「つらい」の一言だったように思います。ななみさんたちの話や質問の子どもさんたちの話を聞きながら、進化！？しているなあと感慨深いものがあります。「つらい」中にも光が見えます。

20年前の不登校の子らが成長し、体験や生き様が手本になっているのでしょう。それも、その子たちを支えた親、その親を支えてきた会の力だと思います。今の子たちもきっとそうなると信じています。きっと、次の子たち、親たちの支えになることでしょう。(星の会創設者)

■子どもの気持ちを受け入れているつもり、苦しい気持ちをわかっているつもりで、日々過ごしていましたが、星の会で話を聞かされたら、まだつもりの自分に気づきます。また今日も、ありのままの息子を受け入れることと、私自身の気持ちを素直にみつめることを、またしてみようと思いました。“自分の心にふたをしない事”ですね。ななみさんの大ファンになりました。子どもを心から愛していきます。

■星の会の例会には参加できずにきましたが、会報は毎号心に響くことが書かれていて、宝物です。子どもや親の理解はもちろん、自分の生き方を見直すものさしになっています。「学校はいい所だよ」と笑顔で言える所になって欲しい。本来、学校はそんな所だと思うのです。自分らしく生きられる社会学校になるために、自分のできることをしていこうと思います。ななみさんの歌声にそのエネルギーを頂きました。

■自由に悩みを打ちあけたり、相談できる素晴らしい会だと思います。会に出会わなかったら今はなかったと思います。子ども2人も、何とか、頑張れるようになり、不登校の時期が充電期間だったのだと思います。親として、できることは、子供の居場所をつくってやり、色々な悩み、相談を時間をかけて、ゆっくり聞いてやることだと思います。今の子どもの姿を見て、決して（親が）焦ることはないと思います。

■ななみさんとさとるさんの話はもちろん、コーディネーターのふるとよさん、全てが良か

ったです。そして加嶋先生の提言では最後…涙が出ました。今日の会には、もっともっと多くの人に来てほしかったですね。でも、今日来てくれた人の心の中にそれぞれの思いが広まり深まり温かいものになったことと思います。そしてそれが少しずつ他の人へと広がっていく事を願わずにはられません。私は私で 自分の生き方や仕事に今日のこともまた一つの大きな財産として生かしていきたいと思っています。今後も星の会がよりよい会であり、少しでも多くの人の力になることを心から願っています。

■シンポジウム・提言・コンサートとどれも素晴らしい心に届くものでした。“生きていいんだ・不登校でいいんだ”と改めて強く思いました。3人の方の言葉を大事に、これからの会を続けていけたらと思います。ななみさんの愛は心深くに入りこみました。

■今日は親子で参加でき、良かったです。息子が経験者の「つらいけど死んでいない」の言葉に、はげまされたのではないのかな…？と思いますが。

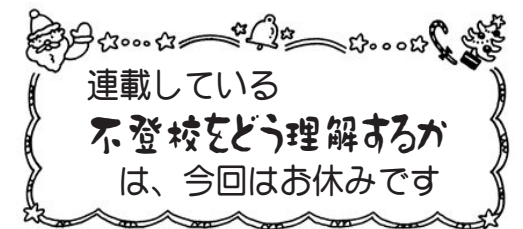
■20年続けることが、すごいです。加嶋先生の「星の会」提言、胸に響きました。ありがとうございます。ななみさんの話、娘の事、思い出しました。「ハグ」いいですね。不登校から抜け出した頃、何かのことで 娘にハグしたら、「私は外国人じゃないからね」と、ぶっきらぼうに、つたっていた事がありました。テレ隠しだったのでしょね。本音をお聞きできたと思います。子供たちは、「いじめ」たことを忘れていいのか？ななみさんの「いじめてくれてありがとう」に、人としての強さ、感じました。加嶋先生から受けた息子の不登校の時のはげまし、とても嬉しかったです。ありがとうございます。「星の会」に出逢えて良かったです。

■大会の企画運営、お疲れ様でした。当時の方のお話、代表の方の提言、そしてコンサートと内容も豊富ですばらしい会でした。準備等大変だったことと思います。心より御礼申し上げます。きっと他の方も同じ様に感じられたのではと思うのですが。コーディネーターの方のお話をもっと（御本人がお話されたくないなら、仕方ないのですが）詳しく聞きたかったと思います。さとるさん・ななみさんのお話もとても素晴らしかったのですが、不登校だった子全てが胸を張れる生き方ばかり（途上である子もいるのではないかと）してるとは思いません。だからこそ古豊さんのお話が貴重だったのではと思います。悶々とする日もありながら立派に生きているからです。

■オープニングの演奏、ななみさんの透き通った歌声、トークと心にしみた3時間でした。たくさんエネルギーをもらいました。大人も子どもも居場所をみつけるって大事ですよ。星の会の皆さん お疲れ様でした。

■デリカシーのない発言をする先生もいたとは思いますが、その先生方も大いに悩んで心配していたと思うんです。もし 学校に行かなくてもOKというスタンスなら学校現場もそのように変えてほしい。クラスに不登校児がいると、職場内での無言の圧力を感じます。「担任が悪いからだ」と。責任を感じ、心を病んでいるのは先生も同じでは？

※編集の関係で一部省略いたしました。



おねがい

原稿をお寄せ下さい

<メール>toiawase@hoshinokai.net

<FAX> 0972-24-3557

- 例会に参加した感想
- 体験をまとめたもの
- 最近の子どもの様子
- 伝えたい情報
- 親の会の紹介
- その他不登校に関すること

原稿は、メールかFAXか郵便で加嶋まで送って下さい。
掲載の際に匿名・イニシャルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。
また、紙面の都合等で、原稿を修正・省略することがあります。ご了承下さい。

次回予告

変更する場合があります、
会報で必ず確認して下さい

- 昼の大分例会…3月7日(土) 13:00~16:30
- 別府例会…3月7日(土) 19:00~21:00
- 豊後大野例会…3月12日(木) 19:00~21:30
- 津久見例会…3月13日(金) 19:00~21:30
- 夜の大分例会…3月20日(金) 19:00~21:30

次号の会報発送作業予定日は、2月26日(木)です